

臨時レポート

7月ECB理事会 金融政策の現状維持を決定

追加金融緩和政策の効果を見極めるため現状維持

- ▶ ECB (欧州中央銀行)は7月理事会で金融政策の現状維持を決定。ラガルド総裁は「新型コロナウイルス感染症による経済への不確実性が残っており、必要があればあらゆる手段を講じる」と発言。
- ▶ 景況感を示す経済指標は最悪期を脱したが、金融政策が“通常モード”に戻るには時間が必要か。

<政策金利、資金供給策を現状維持>

- ECBは7月16日の定例理事会で、主要政策金利を0.00%、預金ファシリティ金利(3つある政策金利の1つで金融機関がECBに預け入れる準備額の金利)を-0.5%の現状維持としました。また、資金供給策として6月会合で増額された「パンデミック緊急買入プログラム(PEPP)」などにも変更はありませんでした。ラガルド総裁は記者会見で「新型コロナウイルス感染症による経済への不確実性が残っており、必要があればあらゆる手段を講じる」と改めて表明し、景気が大幅に改善しない限りPEPPの買い入れ枠をすべて利用する旨を強調しました。
- 6月30日に欧州連合統計局(ユーロスタット)から発表されたECBが重視するエネルギー・食料・タバコ・アルコールを除くユーロ圏CPI(消費者物価指数)<6月速報値：前年同月比>は+0.8%と前月から0.1ポイント低下しました。低下傾向にあり政策目標を下回っています(図表1)。

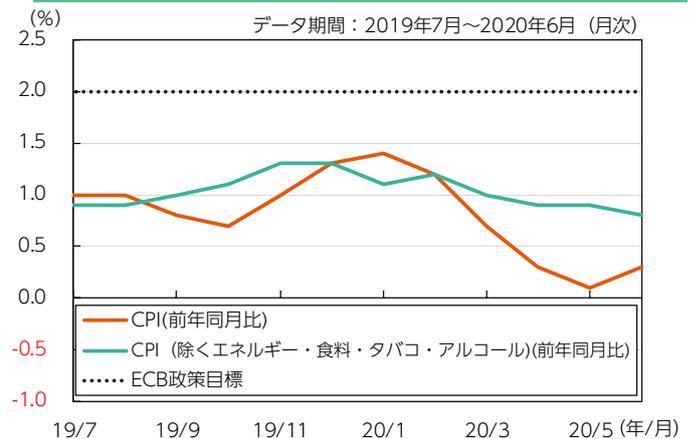
<失業率は2カ月連続で悪化>

- 足元の経済指標を確認すると、7月2日にユーロスタットから発表されたユーロ圏の5月失業率(季節調整済み)は7.4%と前月から0.1ポイント悪化しました。政府の支援策などにより急激な悪化は抑制されているものの、25歳未満の若年層の失業率が16%となるなど、雇用環境の悪化傾向が当面継続するものと思われます。

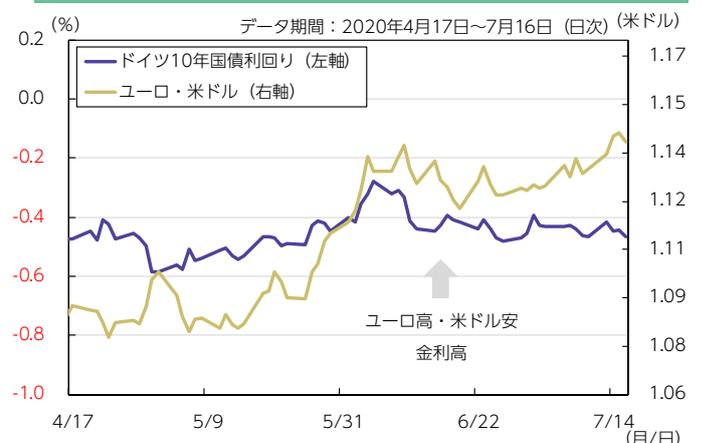
<危機対応はしばらく続くか>

- 7月16日の欧州(ドイツ)債券市場は予想通りの会合結果に反応は限定的となりました。為替市場においても目立った動きはありませんでした。(図表2)。市場では新型コロナウイルス感染拡大で金融支援策が矢継ぎ早に採られてきたことから、政策の効果を見極めるため、少なくとも第4四半期が始まる10月までは大きな政策変更はないとの見方が

図表1：ユーロ圏CPI(消費者物価指数)



図表2：ドイツ10年国債利回りとユーロ・米ドル



出所) 図表1～2はブルームバーグデータをもとにニッセイアセットマネジメント作成

大勢を占めてします。

- 7月17～18日にはEU(欧州連合)臨時首脳会合が開催され、財政支援策である復興基金の詳細について協議される予定です。基金に占める補助金の割合などを巡り、各国の対立はあるものの、7月中の合意が見込まれています。財政政策面でのサポートに目途が立ち、景況感を示す経済指標は最悪期を脱していますが、危機対応とも言える政策が変更され、“通常モード”に戻されるには今しばらく時間がかかるものと思われます。

【当資料に関する留意点】

- 当資料は、市場環境に関する情報の提供を目的として、ニッセイアセットマネジメントが作成したものであり、特定の有価証券等の勧誘を目的とするものではありません。また、金融商品取引法に基づく開示資料ではありません。実際の投資等に係る最終的な決定はご自身で判断してください。
- 当資料は、信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。
- 当資料の内容は作成時点のものであり、将来予告なく変更されることがあります。
- 当資料のいかなる内容も将来の市場環境等を保証するものではありません。
- 当資料にインデックス・統計資料等が記載される場合、それらの知的所有権その他の一切の権利は、その発行者および許諾者に帰属します。
- 当資料に投資信託のグラフ・数値等が記載される場合、それらはあくまでも過去の実績またはシミュレーションであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。また税金・手数料等を考慮しておりませんので、実質的な投資成果を示すものではありません。
- 投資信託は投資する有価証券の価格の変動等により損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託の手数料や報酬等の種類ごとの金額及びその合計額については、具体的な商品を勧誘するものではないので、表示することができません。

<設定・運用>



ニッセイアセットマネジメント株式会社

商号等：ニッセイアセットマネジメント株式会社

金融商品取引業者

関東財務局長（金商）第369号

加入協会：一般社団法人投資信託協会

一般社団法人日本投資顧問業協会

ニッセイアセットマネジメント株式会社

コールセンター 0120-762-506（受付時間：営業日の午前9時～午後5時）

ホームページ <https://www.nam.co.jp/>